

むすんで ひらいて

第41号

発行日
平成30年9月

発行：福井市地区社協連絡協議会
〒910-0018福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

地区社協活動説明会 詳細版 を開催しました

5つの内容について
1日を通して説明会を実施し、地区社協の方々が聞きたい内容を選択して参加しました。市社協担当者から各内容について説明がありました。

地区社協の活動についての理解と、事務の円滑化を目的に、5月29日（火）、地区社協役員・事務局の方を対象に「地区社協活動説明会（詳細版）」を開催し、54名が参加しました。



- 会員会費、共同募金
会費や募金の種類、集まったお金の使途、補助金申請や報告書等の提出について
- 啓発・ふれあい事業、食事サービス事業
事業計画書や予算書、決算書等の記入方法や、福祉まつりの必須メニューなどについて

参加者の声

- 説明会に参加することで地区社協の事務を理解できるようになってきた
- 定期的で開催してほしい
- 各事業についての理解が深まった



- 自治会型デイホーム事業
補助の基準や加算、補助金の交付、会計の手順について
 - 会計事務
会計の手引き及び源泉徴収の手引きをもとに、会計の考え方、手当や講師謝礼の源泉徴収の仕方について
 - 地区社協事務
各地区社協に配布された事務用ファイルをもとに、提出物の確認や表彰関係について
- 内容ごとに質問時間が設けられ、出席者から多くの質問がありました。また、個別相談の時間を設け、日頃の事務作業の中で分からないことや困っていることの相談がありました。
- 今後も地区社協活動を円滑に進めるため、定期的に今回のような説明会を開催します。

第1回

食事サービス事業における衛生管理のポイント

講師 福井県福井健康福祉センター 佐々木 千佳氏

高齢者向けの献立の工夫について

講師 福井県栄養士会 木下 充子氏

開催日：6月1日(金)
参加者：89名



食事サービス事業の安心・安全な実施のため、地区社協の食事サービス事業に関わる役員及びボランティアの方を対象に研修会を開催しました。食中毒対策など衛生管理面での留意点について学び、心こもることを目的に毎年この時期に開催しています。

まず、食中毒の原因となる細菌やウイルスは何種類もあり、一年中何らかの食中毒が発生する可能性があります。ことや、手洗いや調理器具の消毒などの衛生管理の方法、食中毒予防のための調理の工夫について学び、食事サービス提供時の意識を高めることができました。

次に高齢者向けの献立の工夫について、栄養バランスランチオンマットを使用したバランスのとれた食事の作り方、高齢者の方が食べやすい調理方法など、献立を考える際のポイントを学びました。高齢者だけでなく、自身の日々の献立にも役立つお話でも役立つお話でもありました。



地区社協会長 情報交換会

7月19日(木)、各地区社協の会長による情報交換会を開催しました。昨年度は新任の会長を対象に実施しましたが、理事からも「新任の会長だけでなく、全ての会長が集まって話し合う場があった方がよい」という声があり、今年度は全地区社協の会長を対象とし29名が出席しました。

市社協から、地区社協活動についての基本的な説明があり、

その後グループごとに運営上の課題や悩みについて話し合いました。

日頃顔を合わせることの少ない他地区の会長と情報交換をすることで、他地区の活動や取組み、工夫していることの共有ができ、今後の活動のヒントも得られました。

今後とも地区社協活動の活性化のため、会長同士の情報交換の場を設けます。

参加者の声

- 定期的で開催してほしい
- 他地区の取組みを聞くことができ参考になった
- 今回話したテーマ以外のことも情報交換したい
- 情報交換の時間がもっとほしい



ブロック地区社協がおもてなし



勝山市と福井市で障がい者福祉施設を事業展開している九頭竜ワークショップでは、毎年鷹巣海水浴場で利用者が海水浴をしています。川西ブロックの7つの地区社協はボランティアとして参加し、交流しています。この交流は毎年続いており、地元鷹巣中学校の2年生も一緒に活動しています。

今年7月18日(水)に、20名以上の地区社協メンバーが集

まり、鷹巣海水浴場でバーベキューをして九頭竜ワークショップの利用者をもてなしました。

中学生はヨサコイを披露したり一緒に海水浴をしたりと、普段関わることの少ない障がいのある方との交流を楽しんでいました。

ボランティア活動を通し、地区社協と福祉施設、学校といった地域の関係団体が交流できる、とても良い機会になっています。

第2回

デイホーム活動への関わり方のヒント

講師 ㈱ケア・フレンズ 松塚 泰孝氏

開催日：6月29日(金)
参加者：131名



専任職員を対象とした研修会を開催しました。

「デイホーム活動への関わり方のヒント」高齢者の心とからだの理解」というテーマで、高齢者との関わり方やコミュニケーションの取り方について事例を交えながらわかりやすく説明いただきました。個性のある関わりとしてその人にあわせて配慮をすることで高齢者が充実感や満足感が得られることや、高齢者の居場所づくり・仲間づくり・健康づくりの場をつくるのが重要であることを学びました。

デイホームで実践できる体操として、ゲーム感覚で楽しみながら脳トレができる「コグニサイズ」の紹介がありました。頭を使って身体を動かすバリエーション豊富な体操を参加者も一緒にを行い、楽しみながら研修を受講することができたようでした。



平成30年度 福井市民福祉大会のご案内

日にち：10月26日(金)
会場：福井市民福祉会館 小ホール (フェニックス・プラザ2階)
内容：13時30分 大会式典・社会福祉功労者表彰等
14時30分 基調講演
テーマ「見守り・支えあいのできる地域づくり」
講師 陸前高田市社会福祉協議会 事務局長 佐藤 尚子氏
基調講演はどなたでも聴講できます。
主催：福井市、社会福祉法人 福井市社会福祉協議会



地区社協の活動と取り組みを順番に紹介します

岡保地区

連携・協力を深める合同研修会

岡保地区は、福井市の東部に位置し、東山と田園風景に代表される13自治会からなる、総人口2,437名(※)の地区です。小さな地区ですが昔と比べ、人と人のつながりは希薄化が進んでいます。

ひとり暮らしや高齢者世帯は年々増加傾向にあり、災害時の避難支援



を必要とする人も当然ながら増えている中で、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、地域住民や自治会長、地域の各種団体との連携と協力は言うまでもないことです。とりわけ民生児童委員、福祉委員の連携と協力は必要不可欠で強固なものではないけません。

そこで、私たちの地区では、毎年2回の民生児童委員、福祉委員の合同研修会を実施しています。昨年は、4月に講師を招いて合同研修会、11月に特別養護老人ホームとグループホームを運営されている『愛全園』を訪問見学し、介護についての識見を高めました。

場所を移しての昼食は、蕎麦定食に舌鼓を打ちながら、和気あいあいの中、様々な情報交換もでき、お互いの距離を縮めることができました。

この様に、同じ時間を共有することで、地区社協の2大イベント(9月の長寿まつり、11月の福祉まつり)も、積極的参加と連携・協力で楽しく乗り切っています。

※平成30年8月1日時点

岡保地区社会福祉協議会

上文殊地区

シルバーメンズもいきいき交流

市内49地区社協の活動を順番に紹介しています。

上文殊地区社協は、文殊山を背にして、緑豊かな田園風景の中にあります。65歳以上が占める割合が4割近くになり、高齢化が進んでいます。様々な行事が盛んな地区で、まだまだ元気いっぱいです。

各町内では、自治会型デイホーム「ほのぼのサロン」を開いています。毎月脳トレや物づくり、体操を楽しみ、おいしいお茶やお菓子で和気あいあいと時を過ごします。皆さん、とても心待ちにされ、月に一度では足らず、自主的に二度開いている町内もあります。

毎年10月には、「ほのぼのサロンの利用者さんで、すかっとランド九頭竜へ行くのも楽しみのひとつです。ゲームで盛り上がった後は、お風呂に入りすかっとし、そして演芸



を楽しみます。

また、65歳以上の男性による「シルバーメンズ料理教室」を開いています。初めのうちは、包丁を持つこともおぼつきませんでした。が、今では、いわしの背開きが出るまで上達しました。毎回、季節の地産野菜を用いた料理をいただくと、参加者も話がはずみます。また、秋にはひとり暮らしのお年寄りに配るお弁当も作っています。

今年に入り、豪雪、豪雨、猛暑と大変厳しい状況が続き、多くの高齢者をかかえる地区として心配なことばかりです。当地区社協では、「支え合いマップ」や研修を通して知識を深め、地区の様々な団体との協力を深めていきたいと考えています。

上文殊地区社会福祉協議会

◆ 次回は河合地区と木田地区を紹介いたします